

Funehiki High School News vol.133

～がんばる船高生～ **ATTENTION!** 第13回 都路灯まつりに参加!

8月4日に開催された都路灯まつりに、本校からよさこい部、特設ドローン部、アクティブラーダー育成プロジェクトが参加しました。実際に参加した感想を、参加した生徒に伺いました。



●よさこい部 渡辺琉捺さん(3年 大越中出身)
私たちよさこい部は、ステージイベントに参加しました。部員28人で「ヨッシャ来い!」と「EAST JAPAN」の2曲を披露しました。全員で大きな踊りをしようと練習してきた曲です。暑い中、たくさんの来場者が見ている中で、迫力ある演舞ができました。祭りを盛り上げお手伝いができて嬉しかったです。



●特設ドローン部 橋本拓弥さん(3年 船引南中出身)
特設ドローン部では、ドローン「ファントム」を使って、灯まつりの準備とイベントの様子を上空から撮影しました。撮影していると、小さな子どもがドローンに向かって手を振ったり、スタッフや来場者の方々が興味深そうに声をかけてたりしてくれました。多くの人にドローンを知ってもらうことができ、僕たちも嬉しかったですね。灯まつりの幻想的な光景を撮ることができて、素晴らしい体験になりました。これからもドローンの魅力を多くの人に伝えていきたいです。



●アクティブラーダー育成プロジェクト 赤石沢響さん(2年 都路中出身)
昨年度から継続して活動している「アクティブラーダー育成プロジェクト」の一環として、都路地区の復興状況について調べた内容を、ポスターで展示するとともに、パワーポイントを使って発表しました。発表に多くの方が興味を示してくれて、やりがいを感じました。僕は幼い頃から地元の灯まつりに行っていたのですが、調査を発表する立場での参加は初めてだったので、新鮮な気持ちで取り組むことができましたね。灯まつりを例年以上に楽しむことができました。

◆体験入学

7月31日、中学3年生を対象とした体験入学を実施しました。学校概要説明の後、生徒の体験発表として、デュアル実習説明、船高アクティブラーダー活動報告、特設ドローン部活動報告およびドローン実演が行われました。また、部活動見学では、各部の活動を多くの中学生が見学し、実際に練習に参加する姿も見られました。

来年はぜひ「チーム船引」の一員となって、勉強や部活動に励んでくれることを期待しています。



福島県立船引高等学校 Tel...0247-82-1511 Fax...0247-82-5233
HP...<https://funehiki-h.fcs.ed.jp> mail...funehiki-h@fcs.ed.jp

チェスと将棋



Jared Curtis
ジェレッド・カーティスさん
(アメリカ合衆国
オハイオ州出身)
田村市に来て1年目

あなたはチェスをしたことがありますか? 僕は少年時代、よく友人とチェスをして過ごしました。互いに知力の限りを尽くして競い合った日々を、今でも思い出します。チェスの全国大会に参加するために、週末に国内各地を回ったこともあります。



チェスは僕に多くのことを教えてくれます。例えば、心と体を落ち着け、一つのこと集中する方法です。またチェスでは、決断する前に選択肢を考えることが重要です。その決断が勝負を決定づけるかもしれませんからね。それは人生でも同じかもしれません。

子どもは傾けだけでなく、年齢を重ねてもなお、新しいことを学び続けることは大切なのではないでしょうか。例えば認知症を予防するのにも、毎日新しいことを学び続けるのが効果的だと聞いたことがあります。喜びや好奇心の多い人生を送りたいという積極的な気持ち、心身の健康のためにも重要だと思っております。

海を越えて 英語指導助手ペンリレ No. 63



Bobby Eisel
バビー・アイソルさん
(アメリカ合衆国
イリノイ州出身)
田村市に来て1年目

田村市に来る前は、自分は教えることが本当に好きなのだろうかと自問することもありました。しかし、学校で数ヶ月間働いた今は、教えることが大好きだと自覚しています。田村の子どもたちのおかげです。



私が英語を教えているのは、2歳以上の子どもたち。彼らは優秀で、ユニークで、好意的です。すぐに「こんにちは」と挨拶してくれるようになり、今ではハイファイブ(※)をすることも多いです。

田村の子どもたち

子どもたちは英語を勉強することに熱心ですね。学ぼうとするにわくわくしていて、いつも意欲を持って学習しています。また、私が日本語を理解できなかったり、会話をするにはまだ十分ではありませんが、彼らは辛抱強く理解しようとしてくれます。そんな時は、逆に彼らが私に新しい日本語を説明したり、通訳をしたりしてくれます。子どもたちは私にとって、生徒であると同時に教師でもあるのです。

田村ではまだ短い期間しか過ごしていませんが、私はこの仕事と生徒たちに強い結びつきを感じています。そして、これからも多くの人々と出会い、結びついていくでしょう。それが今から楽しみでなりません。

※ハイファイブ(High-five)：日本では「ハイタッチ」。ハイタッチは和製英語。